

子育て・非課税世帯に5万円支給、水道基本料金免除など

8月臨時議会

第3次新型コロナ対策予算を可決

8月12日に令和2年第3回臨時議会を開催し、国の臨時交付金の再交付を受けた第3次の新型コロナ対策事業を具体化した補正予算を審議、可決しました。

今回の補正では、子育てや非課税世帯への生活支援給付金、水道基本料金の4か月免除、和束荘経営支援、小中学校のタブレット購入などの経費が計上されました。



補正予算に計上された新型コロナウイルス感染対策の主な内容

事業名	予算額	事業の内容
子育て世帯等 生活支援給付金	4270万円	○対象世帯 子育て世帯（210世帯。22歳までの乳幼児、小・中・高・大学生等がいる世帯）、非課税世帯（644世帯）。1世帯当たり5万円を支給。 ○申請書を郵送し、9月から申請開始。
簡易水道 基本料金減額	1100万円	○簡易水道基本料金（税込1650円）を、8～11月の4か月間、免除。
和束荘 経営支援事業補助金	1500万円	○和束荘の指定管理者である活性化センターに対して経営補助金を支出。 ○調理師やアルバイト職員等の人件費、水光熱費等の固定的経費を令和2年6月～令和3年3月までの期間補助する。
GIGAスクール 整備補助金	3573万5千円	○オンライン授業等の環境整備のため、小中学校の児童・生徒、教員用のタブレット等を購入する。 ○小学校136台分、中学校70台分。
避難所受入体制 整備事業	317万9千円	○B&G海洋センター（ミーティングルーム）、いきいきこども館（和室、4教室、ホール）に空調設備を整備し、避難所機能を整備、改善する。
避難所感染症拡大 防止対策事業	207万9千円	○避難所での3密回避、プライバシー確保、飛沫感染防止、防寒対策等のため、間仕切りテントを60セット購入。 ○B&G海洋センター、小学校、中学校に各20セットを配備する。



新型コロナウイルス感染対策のお問い合わせは、町役場にご連絡ください。
☎0774-78-3001（代表）

補正予算での質疑(概要) Q&A



コロナ禍で厳しい経営が続く和東荘

子育て世帯等への給付金について

- Q. 大学生まで対象にしたのは前進だが、世帯ではなく1人1人の学生への支援にすべきでは。
- A. 今回は子育て世帯への支援と位置付けた。
- Q. 22歳以上の学生も対象にすべきでは。
- A. いろいろと検討したが、年齢で区切る判断をした。
- Q. 定額給付金の基準日以降の出生児への独自策は。
- A. 母子手帳発行等を基準に検討している。

和東荘への経営支援について

- Q. 和東荘に1500万円を支援する理由は。
- A. コロナ禍で客数が7割

以上減り、雇用維持等が必要と考え支援する。

Q. 1500万円の根拠は。まるまる補填するのか。

- A. 人件費、水光熱費等の固定的経費が対象。すべて補填ではない。
- Q. 和東荘だけが厳しいのでなく、民間は自力で努力している。経営努力はしているのか。
- A. 持続化給付金や雇用助成金等の申請も行い自助努力はしている。
- Q. 公的施設の維持は必要だが、理解が得られるのか。しつかり説明をし、町の取組みに協力してきた事業者への支援を真剣に検討すべき。
- A. 今回は、国の支援メニューを採用し支援を判断した。事業者への目配りを大事にし努力していきたい。



ライフラインの負担軽減し生活を応援

水道基本料金の減免について

- Q. 水道料金の軽減内容は。
- A. 月額1650円の基本料金を4か月間(8、11月分)免除し軽減する。
- Q. 期限のある減免であることの周知徹底を。
- A. 周知徹底したい。

避難所等の感染拡大防止について

- Q. 避難所の感染防止対策で購入する間仕切りテントの内容は。
- A. 180×180のドーム型テントで、屋外でも使用できるもの。
- Q. テントや段ボールベッド等の設営訓練が必要ではないか。
- A. 職員から訓練したい。



感染予防とプライバシー保護へ

その他の支援、取り組みについて

- Q. 体験交流センターのホール等に網戸設置を。
- A. 施設改修に合わせ設置する予定。
- Q. 和東荘は「Gotoトラベル」の対象施設になるのか。
- A. 登録申請をしている。現状では対象施設になれば感染リスクが高まるのでは。
- Q. 申請はしたが条件が複雑で登録の可能性は低いと考えている。

これまでの対策の進み具合は？



5月臨時会、6月定例会等で予算化された新型コロナ対策の事業、特に生活支援に関する事業はどう進んでいるのでしょうか。

【定額給付金】

支給対象1704世帯のうち申請1693で残り11世帯。不明や辞退等を除きあと5世帯の申請を援助すると答弁。申請は8月20日に締切られました。

【生活応援商品券】

支給対象1701世帯のうち申請1573、3813人中3629人に支給。申請締切りは8月31日。

【茶業経営支援給付金】

支給対象予定300軒のうち申請数は186。申請の締め切りは10月31日。

※数字は臨時議会の時点での答弁のものです。



全町民に配布される生活応援商品券

- Q. 国の交付金をIOTでの高齢者の見守り体制整備に活用できないか。
- A. 光ボックスでの双方向機能を検討している。
- Q. コロナ対策でのふるさと納税の呼びかけは。
- A. 町内から寄付がありコロナ対策に活用予定。
- Q. 現在の検査や医療の体制は。身近で検査が受けられる体制整備が必要。
- A. 山城総合医療センター、学研都市病院で受入体制をとっている。出来るだけ身近な医療機関で検査が受けられる方向で府が進めている。